

文の組み立て①

1 主語・述語（主述）の関係 次の各文

の——線部から、主語と述語を一つずつ
選びなさい。

① 彼こそが まさに ヒーローだ。

主語（ ） 述語（ ）

② この 駅には 特急も 止まる。

主語（ ） 述語（ ）

③ 毎日 よく 働くね、きみは。

主語（ ） 述語（ ）

④ 風の 音さえ 全く 聞こえない。

主語（ ） 述語（ ）

完答6×4

2 修飾・被修飾の関係 次の各文の——

線部がかかる一文節を書き出さない。

① 小さな花が、ひっそりと庭の片隅に
咲いた。

主語（ ） 述語（ ）

② 毎日ジョギングをすれば、体力が向
上するだろう。

主語（ ） 述語（ ）

③ あのなつかしい小川は、埋め立てら
れてしまって、今はもう見られない。

主語（ ） 述語（ ）

5×4

④ たとえ彼が行かなくても、僕は富士
山に登る夢を決してあきらめない。

主語（ ） 述語（ ）

3 並立の関係 次の各文の——線部か

ら、並立の関係にある文節を二つずつ選
びなさい。

① 彼は 明るく 素直な 少年だ。

（ ） （ ） （ ）

完答6×3

② 私は 犬と 猫を 飼って いる。

（ ） （ ） （ ）

③ 冬の 海辺は 静かで さびしい。

（ ） （ ） （ ）

4 補助の関係 へ例にならい、次の各文

中で補助の関係にある文節二つに、——
線を引きなさい。

へ例 森の中で 虫が 鳴いている。

① 父が 手を 振ってくれた。

② 行き先が 書いてある 紙を持つ。

5 接続語（接続の関係） 次の各文の

に合う接続語を、あとから一つずつ選
びなさい。

① そのスーパーは、家から遠い。 □

② 私は大急ぎで駅に向かった。 □ 電

車に乗り遅れなかった。 □

③ 僕はスペインへ行きたい。 □ 建築

物に興味があるからだ。 □

④ コーヒーを飲みますか。 □ 紅茶を

飲みますか。 □

ア なぜなら イ それとも

ウ けれども エ だから オ さて

6 独立語 次の各文から、独立語を一つ

ずつ書き出さない。

① うん、君の言うとおりだ。

② みなさん、私が司会の山本です。

4×2

完答5×2

2

文法

解答解説

文の組み立て①

解答

解説

1

①	主語	ア
②	述語	ウ
③	主語	エ
④	述語	ウ
	主語	イ
	述語	エ

2

①	咲いた
②	すれば
③	小川は
④	行かなくても

3

①	イ・ウ
②	イ・ウ
③	ウ・エ

4

①	振って	くれた
②	書いて	ある

5

①	ウ
②	エ
③	ア
④	イ

6

①	うん
②	みなさん

1

主語・述語（主述）の関係は、文の骨組みにあたる。「何（だれ）が」にあたるのが主語。①のように「こそ」が入ったり、④のように「が」の代わりに「さえ」となったりする場合もあるので注意。

②「止まる」という述語の動作をするのは何かを考える。

③は語順が入れ替わって（倒置）、述語が先に来ている。

2

①「ひっそりと」はどのように「咲いた」のかを、②「毎日」はいつ「すれば」なのかを表している。

③「あの」は、「小川は」を修飾して、どの「小川」かを示している。

④「たとえ」は、被修飾語に必ず「……でも（でも）」という言葉がきて、仮定の意味を表す。

3

並立の関係とは、二つ以上の文節が対等に並ぶ関係という。

4

補助の関係は、下の文節がすぐ上の文節に補助的な意味を添える関係。①の「くれる」は、相手が自分に対して何かをするという意味を添える補助動詞。

5

□の前後の内容を見てそのつながりにふさわしい接続語を選ぶ。

①は逆接、②は順接、④は選択の接続語が入る。

③は前の文の理由をあとの文で説明している。

6

他の文節と直接のつながりがない文節を「独立語」という。①は応答、②は呼びかけ。感動したときの「ああ」や、「おはよう」というあいさつも独立語である。